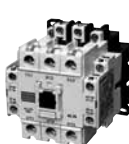




3相交流電源
インバータの許容電源仕様内で使用してください。
(8ページ参照)



ノーヒューズブレーカ (NFB) または漏電ブレーカ (ELB)、ヒューズ
インバータは電源投入時に突入電流が流れるため、ブレーカの選定は注意が必要です。
(71ページ参照)



電磁接触器 (MC)
安全確保のために設置してください。この電磁接触器で頻繁なインバータの始動停止は行わないでください。インバータ寿命低下の原因になります。
(71ページ参照)



リアクトル (FR-HAL, FR-HEL)
高調波抑制対策、力率の改善を行う場合に設置してください。大容量電源直下 (1000kVA以上) に設置を行う場合ACリアクトル (FR-HAL) (オプション) の使用が必要となります。使用を怠るとインバータが破損する場合があります。機種に合わせてリアクトルを選定してください。55k以下でDCリアクトル接続時は、端子P/+P1間の短絡片を取り外して接続してください。
(63ページ参照)



ACリアクトル (FR-HAL)

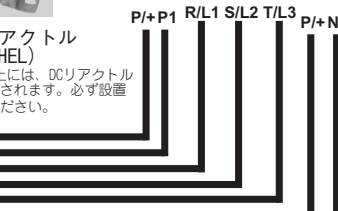


DCリアクトル (FR-HEL)
75k以上は、DCリアクトルが付属されます。必ず設置してください。



ノイズフィルタ (FR-BLF)
55k以下には零相リアクトルを内蔵しています。
(69ページ参照)

DCリアクトル (FR-HEL)
75k以上は、DCリアクトルが付属されます。必ず設置してください。



ブレーキユニット (FR-BU2)



抵抗器ユニット (FR-BR*1, MT-BR5*2)
インバータの回生制動能力を十分に発揮させることができます。必要に応じて設置してください。
(64ページ参照)



高効率コンバータ (FR-HC*1, MT-HC*2)
電源高調波を大幅に抑制します。必要に応じて設置してください。
(67ページ参照)



電源回生共通コンバータ (FR-CV*1) 電源回生コンバータ (MT-RC*2)
大きな制動能力が得られます。必要に応じて設置してください。
(67ページ参照)

*1 55k以下の容量に対応します。
*2 75k以上の容量に対応します。

：必要に応じて設置してください。



RS-485端子台
シーケンサなどの計算機やGOT(表示器)との接続ができます。
三菱インバータプロトコルとModbus-RTU(Binary)プロトコルに対応しています。



インバータ(FREQROL-F700P)

インバータの寿命は周囲温度に影響されます。周囲温度に注意してください。盤内収納のときは特に注意してください。
(9ページ参照)
誤った配線は、インバータ破損にいたります。また、制御信号線は主回路線と十分に分離し、ノイズの影響を受けないようにすることが大切です。
(22ページ参照)
内蔵EMCフィルタについては取扱説明書を参照してください。

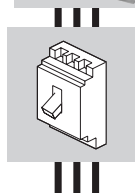
IM接続



出力側の接続機器
進相コンデンサ・サージキラー・ラジオノイズフィルタは出力側に接続しないでください。
出力側にノーヒューズブレーカを設置する場合、ノーヒューズブレーカの選定は各メーカーへお問い合わせください。

接地
感電防止のために、モータおよびインバータは必ず接地して使用してください。

IPM接続



ノイズフィルタ (FR-BSF01, FR-BLF)
インバータから発生する電磁ノイズを低減させる場合に適用してください。おおよそ0.5MHz~5MHzの周波数帯で効果があります。電線の貫通は最大でも4Tとしてください。
(69ページ参照)

開閉器
例) ノーヒューズスイッチ (DSN形)
インバータの電源を切った状態でもIPMモータが負荷に回される用途の場合接続します。インバータ運転中 (出力中) に開閉器を開閉しないでください。
(74ページ参照)

専用IPMモータ (MM-EFS, MM-EF)
指定のモータをご使用ください。商用電源による運転はできません。
(78ページ参照)

注意

- インバータの出力側には進相コンデンサやサージキラー、ラジオノイズフィルタを取り付けしないでください。インバータトリップやコンデンサ、サージキラーの破損を引き起こします。接続されている場合は取り外してください。
- 電波障害について
インバータの入出力 (主回路) には高周波成分を含んでおり、インバータの近くで使用される通信機器 (AMラジオなど) に電波障害を与える場合があります。
この場合にはEMCフィルタを入れることによって障害を小さくすることができます。(取扱説明書 (応用編) 2章参照)
- 周辺機器の詳細は各オプション、周辺機器の取扱説明書を参照してください。
- IPMモータは商用電源による運転はできません。
- IPMモータは永久磁石埋込み形モータですので、インバータの電源を切った状態でもモータが回っている間は、モータの端子には高電圧が発生しています。出力側の開閉器を閉じる場合は、モータが停止した状態で行ってください。